

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 26 年 3 月 20 日 (2014.3.20)

【公開番号】特開 2012-160969 (P2012-160969A)

【公開日】平成 24 年 8 月 23 日 (2012.8.23)

【年通号数】公開・登録公報 2012-033

【出願番号】特願 2011-20091 (P2011-20091)

【国際特許分類】

H 0 4 N 5/93 (2006.01)

H 0 4 N 5/76 (2006.01)

H 0 4 N 5/225 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 5/93 Z

H 0 4 N 5/76 Z

H 0 4 N 5/225 F

H 0 4 N 5/225 A

H 0 4 N 5/225 B

【手続補正書】

【提出日】平成 26 年 2 月 3 日 (2014.2.3)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

記録媒体に記録されている画像を再生して表示手段に表示するように制御する再生制御手段と、

前記再生制御手段で画像を表示している際に、前記記録媒体に記録されている動画のうち、特定の撮影モードで撮影された動画の一覧を表示する画面への遷移指示を受け付ける受付手段と、

前記受付手段で前記遷移指示を受け付けると、前記記録媒体に記録されている画像のうち特定の撮影モードで撮影された動画を示す選択肢の一覧を表示し、該一覧において、前記記録媒体に記録された画像のうち、該一覧へ遷移する直前に前記再生制御手段によって表示されていた画像から所定の順序において前でかつ最も近くにある前記特定の撮影モードで撮影された動画を示す選択肢を選択した状態で表示するように制御する表示制御手段と

を有することを特徴とする画像再生装置。

【請求項 2】

前記所定の順序は、前記再生制御手段における画像送りの順序であることを特徴とする請求項 1 に記載の画像再生装置。

【請求項 3】

前記表示制御手段は、前記所定の順序において、前記受付手段により前記遷移指示を受け付けた際に前記表示手段に表示されていた画像よりも前に前記所定の撮影モードで撮影された動画が存在しない場合、前記所定の順序において最も後ろにある前記所定の撮影モードで撮影された動画が選択された状態で前記一覧を表示するように制御することを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の画像再生装置。

【請求項 4】

記録媒体に記録されている画像を表示手段に表示するように制御する再生制御手段と、前記再生制御手段で画像を表示している際に、前記記録媒体に記録されている画像のうち、動画の一覧を表示する画面への遷移指示を受け付ける受付手段と、

前記受付手段で前記遷移指示を受け付けると、前記記録媒体に記録されている複数の動画のそれぞれを示す選択肢の一覧を表示し、該一覧において、該一覧へ遷移する直前に前記再生制御手段によって表示されていた画像と関連付けられた動画を示す選択肢を選択した状態で表示するように制御する表示制御手段と  
を有することを特徴とする画像再生装置。

【請求項 5】

前記表示制御手段は、前記関連付けられた動画が複数存在する場合、前記関連付けられた動画のうち、所定の順序において、前記受付手段により前記遷移指示を受け付けた際に前記表示手段に表示されていた画像より前で最も近くにある動画が選択された状態で前記一覧を表示するように制御することを特徴とする請求項 4 に記載の画像再生装置。

【請求項 6】

前記表示制御手段は、前記所定の順序において、前記受付手段により前記遷移指示を受け付けた際に前記表示手段に表示されていた画像よりも前に前記関連付けられた動画が存在しない場合、前記所定の順序において最も後ろにある動画が選択された状態で前記一覧を表示させるように制御することを特徴とする請求項 5 に記載の画像再生装置。

【請求項 7】

前記画像と関連付けられた動画は、該画像が撮影された際に撮影されていた動画であることを特徴とする請求項 4 乃至 6 のいずれか 1 項に記載の画像再生装置。

【請求項 8】

前記受付手段により前記遷移指示を受け付けた際に前記表示手段に表示されていた画像が、動画のフレームを抽出することにより生成された静止画である場合、該静止画と関連付けられた動画は、該静止画の抽出元の動画であることを特徴とする請求項 4 乃至 6 のいずれか 1 項に記載の画像再生装置。

【請求項 9】

前記受付手段により前記遷移指示を受け付けた際に前記表示手段に表示されていた画像と撮影日時、生成日時、あるいは更新日時が同一の時間範囲に属する動画を、前記関連付けられた動画とすることを特徴とする請求項 4 乃至 6 のいずれか 1 項に記載の画像再生装置。

【請求項 10】

再生制御手段が、記録媒体に記録されている画像を再生して表示手段に表示するように制御する再生制御工程と、

受付手段が、前記再生制御工程において画像を表示している際に、前記記録媒体に記録されている動画のうち、特定の撮影モードで撮影された動画の一覧を表示する画面への遷移指示を受け付ける受付工程と、

表示制御手段が、前記受付工程において前記遷移指示を受け付けると、前記記録媒体に記録されている画像のうち特定の撮影モードで撮影された動画を示す選択肢の一覧を表示し、該一覧において、前記記録媒体に記録された画像のうち、該一覧へ遷移する直前に前記再生制御工程において表示されていた画像から所定の順序において前でかつ最も近くにある前記特定の撮影モードで撮影された動画を示す選択肢を選択した状態で表示するように制御する表示制御工程と

を有することを特徴とする画像再生装置の制御方法。

【請求項 11】

再生制御手段が、記録媒体に記録されている画像を表示手段に表示するように制御する再生制御工程と、

受付手段が、前記再生制御工程において画像を表示している際に、前記記録媒体に記録されている画像のうち、動画の一覧を表示する画面への遷移指示を受け付ける受付工程と

表示制御手段が、前記受付工程において前記遷移指示を受け付けると、前記記録媒体に記録されている複数の動画のそれぞれを示す選択肢の一覧を表示し、該一覧において、該一覧へ遷移する直前に前記再生制御工程において表示されていた画像と関連付けられた動画を示す選択肢を選択した状態で表示するように制御する表示制御工程とを有することを特徴とする画像再生装置の制御方法。

【請求項 1 2】

コンピュータを、請求項 1 乃至 9 のいずれか 1 項に記載の画像再生装置の各手段として機能させるためのプログラム。

【請求項 1 3】

コンピュータを、請求項 1 乃至 9 のいずれか 1 項に記載の画像再生装置の各手段として機能させるためのプログラムが記録されたコンピュータが読み取り可能な記録媒体。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 8】

前述の目的を達成するために、本発明の画像再生装置は、以下の構成を備える。

記録媒体に記録されている画像を再生して表示手段に表示するように制御する再生制御手段と、再生制御手段で画像を表示している際に、記録媒体に記録されている動画のうち、特定の撮影モードで撮影された動画の一覧を表示する画面への遷移指示を受け付ける受付手段と、受付手段で遷移指示を受け付けると、記録媒体に記録されている画像のうち特定の撮影モードで撮影された動画を示す選択肢の一覧を表示し、該一覧において、記録媒体に記録された画像のうち、該一覧へ遷移する直前に再生制御手段によって表示されていた画像から所定の順序において前でかつ最も近くにある特定の撮影モードで撮影された動画を示す選択肢を選択した状態で表示するように制御する表示制御手段とを有することを特徴とする。